県様式第２号 変更前・変更後

保管の概要を記載した書類（積替えのための保管）

|  |  |
| --- | --- |
| 保管の理由 |  |
| 取り扱う産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む。）ごとの保管計画 |
| 産業廃棄物の種類＊１、＊２ | 性状 | 面積 (m2) | 屋外屋内の別 | 保管容器(種類・個数) | 保管上限\*3(t又はm3) | 最大積上げ高さ\*4(m) | 計画搬出量(t/月又はm3/月) | 搬出量から算出した保管上限\*5(t又はm3) | 予定運搬先の名称及び所在地 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ＊１ 当該産業廃棄物が石綿含有産業廃棄物である場合は、その旨を記載すること。＊２ 同じ種類の産業廃棄物を保管場所内で２か所に分けて保管する場合は、２行に分けて記載すること。この場合、計画搬出量欄及び搬出量から算出した保管上限欄は、１行にすること。＊３ 保管上限は、搬出量から算出した保管上限\*5以内となっていること。＊４ 屋外で容器を用いずに保管する場合は、最大積上げ高さを記載すること。＊５ 計画搬出量の７日分として算出した量（計画搬出量÷30×７）を記載すること。 |

県様式第３号 変更前・変更後

保管の概要を記載した書類（処分等のための保管）

|  |  |
| --- | --- |
| 処理施設の種類及び処理する産業廃棄物の種類並びに数量 |  |
| 取り扱う産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む。）ごとの保管計画 |
| 産業廃棄物の種類\*1 | 処分前処分後の別 | 性状 | 面積(m2) | 屋外屋内の別 | 保管容器(種類・個数) | 保管上限\*2(t又はm3) | 最大積上げ高さ\*3(m) | 処理施設の処理能力(t/日又はm3/日) | 処理能力から算出した保管上限\*4(t又はm3) |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ＊１ 同じ種類の産業廃棄物を保管場所内で２か所に分けて保管する場合は、２行に分けて記載すること。この場合、処分前の保管にあっては、処理施設の処理能力欄及び処理能力から算出した保管上限欄は、１行にすること。＊２ 保管上限は、処理能力から算出した保管上限\*4以内となっていること。ただし、保管する産業廃棄物が当該処分後のものである場合、本欄は記載不要。＊３ 屋外で容器を用いずに保管する場合は、最大積上げ高さを記載すること。＊４ 処理能力の14日分として算出した量を記載すること。ただし、木くず、コンクリート破片又はアスファルト破片であって、分別されたものを再生するための保管の場合は、木くず又はコンクリート破片は処理能力の28日分、アスファルト破片は処理能力の70日分として算出した量を記載すること。なお、保管する産業廃棄物が当該処分後のものである場合、本欄は記載不要。 |